

のびのび、ひとりひとりの可能性が ひらかれる！

人はだれでも、
できるようになりたいと思っています。

学ぶ人一人ひとりに確実に
寄り添っていきける「らくた教材」

さあ、だれでもできる「セルフラーニング」
「できないことは」染して悪くないんだよ！

学習塾



すくーるふたば 入会のご案内

「らくだ教材」で学びます

学習科目——算数・数学・国語・英語（何教科でも会費は同じです）

対 象——幼児から大人まで。

入 会 金——10,000円（1家族1回です。）

月 会 費——10,000円（兄弟割引があります。）

通信教育は12,500円（遠方の方は通信教育もできます。）

学 習 日——月・火・木・金（午後3時30分～8時30分）

*週に何回通っても会費は同じです。 *いつでもプリントの体験ができます。



子育ての秘訣

指導をすれば子どもは育つか？

決して育たない

指導をしたから子どもが育ったのではなく

勝手に育ったのだ

環境のなかで

子どもが何を見て、何をつかむか

何を自分の血や肉にしていくなか

子どもが自分で決めているのだ

だから、子どもをこうしようと思っても

思い通りにできるものなんて何ひとつない

ならば何をすればいいのか

それはただひとつ

チャンスを与えることだけ

そのチャンスを生かすか、殺すか

それは子ども自身が決めること

（平井雷太氏・セルフラーニング研究所所長・らくだ教材開発者）

お問い合わせ・お申し込み

すくーるふたば・小西稔子

岡山市番町2丁目11-27 ☎700-0811

tel. 086-222-5454 / fax. 086-222-5452

E-mail: koni@hi-ho.ne.jp PHS. 070-5670-5473

URL: <http://www.hi-ho.ne.jp/koni/>





説 解

オピニオン



監 修 小西 稔子さん

子どもたち数人が集まり、段ボールで基地を作っている。「二」に屋根を作る。「入」の穴を開けるのはどうする?」「二」にイスを置いて……。だんだんと作業は難しくなるが、段ボールをカッターで切ったり、ガムテープでつなげたり……。黙々と取り組む姿に圧倒される。

子どもの自然学習力

談 論 風 発

「自分で決めて」急成長

子どもたちは驚くほど、自然学習力に驚かす。大人の目線で見てみると、子どもたちは自分の力で、自然学習力に驚かす。大人の目線で見てみると、子どもたちは自分の力で、自然学習力に驚かす。大人の目線で見てみると、子どもたちは自分の力で、自然学習力に驚かす。



「自分で決めて」急成長。子どもたちは驚くほど、自然学習力に驚かす。大人の目線で見てみると、子どもたちは自分の力で、自然学習力に驚かす。大人の目線で見てみると、子どもたちは自分の力で、自然学習力に驚かす。

「意見・感想を」... 子どもたちは驚くほど、自然学習力に驚かす。大人の目線で見てみると、子どもたちは自分の力で、自然学習力に驚かす。大人の目線で見てみると、子どもたちは自分の力で、自然学習力に驚かす。

「意見・感想を」... 子どもたちは驚くほど、自然学習力に驚かす。大人の目線で見てみると、子どもたちは自分の力で、自然学習力に驚かす。大人の目線で見てみると、子どもたちは自分の力で、自然学習力に驚かす。

だれでもできる、できることは……うん、悪くない

学習の仕方を学びます。算数、数学、国語、英語を使ったセルフラーニング学習のツール「らくだ教材」を使います。

だれかに教えてもらわなくても学べ、「自分で考える力」を大切にできるように開発されたプリント教材です。

学びのプロセス

1

「自分の状態」が 自分でわかる

- まず、学習のスタートは、自分の課題に自分で気づくこと。
- ストップウォッチを使い、自分で時間をはかって、問題に取り込みます。1枚1枚のプリントには目安時間が設定されています(目安時間でできていたら合格)。
- 目安時間とは、競争するための時間ではなく、すらすら無理なくできるようになる時間、つまり、身についたかどうかの目安、ということです。
- 解けたら、自分で答え合わせをします(ミス3つ以内で合格)。
- 「学習記録表」をつけるので、昨日の自分と今日の自分のわずかな変化もよく見えてきます。
- 外的刺激ではなく、子どもの本来もつ内発的動機・自然学習力(できるようになりたい気持ち)を大切にします。

2

自分で決める

- 記録表にあらわれる自分の状態(目安時間の変化、ミスの数の変化など)が自分でわかることで、次に自分のやる学習を自分で決めることができます。
- 学習コーディネーターがサポートをし、選択肢を提案しながら、本人が自分で決めることを応援します。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1									
11	12				15		28		
21		22					39		
			43						
				54					
61									
		72							
					85				

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
41	43			
46		49		
	102			
106				
111		18		
			22	
				30

* <幼-13> 幼児の最後のプリントです。たしさんの導入にもなり、これができるたたし算に進みます。

—— 子どもたちに、どんな力をつけてほしいですか？ ——

「学力って、生きる体力のようなものかも…」

コミュニケーションの力

セルフラーニングは自分でやる学習ですが、一人だけでやる、という意味ではありません。学習コーディネーターの提案にのってみたい、聞かれて考えたりすることで、一人の力ではできないことができていきます。

できない自分も受け入れる力

いつでもできるとは限らない、だったら、いつもできないことも続かない。
きっとできるときがくるはず。
できない自分を受入れられたら、そこからが「始まり」です。

できない壁を乗り越える力

壁をのり越えられないと自分で思い込んでいるだけかもしれない。
やってみると、ひょっとしたらできるかもしれない。
わくわくしながら挑戦できると、
何が起きるかわからないおもしろさが待っています。

3

決めたことを 実行する

- 教えてもらわなくても、やっていけば必ずできていくプリントです。表には自分で発見していけるヒント、裏には解答とそのプロセスがありますので、習っていないくても、自分でやりながらできていきます。1日の時間のうち、どこでやるか、時間の管理なども工夫していきます。

4

結果を振り返る

- 学習記録表を見ながら、学習コーディネーターと学習を振り返ります。できないことはOK。それを否定しないで、どうするかを考える練習をすることで、起きた問題に意味が生まれてきます。そして、その後には「できない」が「できる」に変化する体験が待っています。学習コーディネーターと「聞く」「話す」を体験することで、人との関係の作り方、折り合いの付け方など、コミュニケーションの練習をすることになります。

1

1に戻りながら せん状に力を つけていきます。

- 学習経験が重なっていくことで、階段を1段1段上っていくように、基礎学力が身につく、生きる体力をたくわえます。そのためには、繰り返すこと、毎日することが基本。その繰り返すには、固有の時間があり、固有のペースで進むことが必要です。突然やると大人でもむずかしい小5-25も、その人にぴったりのところから順番に積み重ねていくことで、できるようになっていきます。

(※：見本参照)

*〈小5-25〉このプリントに初めて取り組んで、15分という目安時間内で全部できた方は、今まで1~2人しかいませんでしたので、すぐにできなくても大丈夫。積み重ねていくことでできるようになります。

気分に流されないでやる力

「毎日学習する」ということがたんと習慣になることで、さまざまな可能性が開かれます。「やりたい」「やりたくない」という「やる気」に頼ったり振り回されたりするのではなく、まずはやっているうちに「やる気」が育っていくのです。

自分で決める力

押し付けられても、それは自分の喜びじゃない。
自分で決めたら自分の足で歩き出せる。
それが自立の第一歩。

自分の変化を待つ力

繰り返してやれば、その人なりにかならずできていくことで、「できた!」の体験を積み重ねます。「私も結構いけるんじゃない?」と、「自己肯定感」が生まれます。

*計算練習によって脳が活性化する。

脳が活性化することを繰り返すことで、脳細胞と脳細胞をつなぐ最短の経路が見つかり、繋がった経路を太くする、という研究結果が発表されています。



教え好きの私は、小学校の教師時代、3人のわが子の子育てを、「子どものために!」と思って一生懸命やってきたつもりだったのですが、手取り足取り教えると子どもは私に依存し、かといって、自由にのびのびと、とほったらかしにしおくのはただの放任。それでは、どうしたらいいの? と新しい関係作りを模索しているときに、「セルフラーニング」という学びと、「学習コーディネーター」という存在に出会いました。人がもともと持っている自然学習力が動き出し、能動的になっていくには何が必要なのか、ということを考えていくことがライフワークになっています。